

『非戦へ 物語平和論』 藤井貞和【著】

《好評既刊》

『湾岸戦争論』『言葉と戦争』『水素よ、炉心露出の詩』
現代日本を代表する文学者による戦争論の完結編戦争という人類的な悪を辞めさせるためには、
その根源的な成立理由を曇りなく明るみに曝すことから始めなければならない。

藤井貞和

非戦へ
物語平和論

水平線

著者略歴 藤井貞和 (ふじい さだかず)

1942年、東京都生まれ。東京大学文学部国文学科卒業。『物語文学成立史』(東京大学出版会、1987)、『源氏物語論』(岩波書店、2000、角川源義賞)、『平安物語叙述論』(東京大学出版会、2001)が物語三部作。詩作品書『地名は地面へ帰れ』(永井出版企画、1972)、詩集『乱暴な大洪水』(思潮社、1976)以下、詩作と研究・評論とが半ばする。『湾岸戦争論』(河出書房新社、1994)、『言葉と戦争』(大月書店、2007)、『非戦へ』(編集室水平線、2018)が戦争三部作。2011.3.11のあと、『日本文学源流史』(青土社)、『くうた』(同、毎日出版文化賞)、『物語史の起動』(同)の三部作、『文法的詩学』(笠間書院)ほか古典文法論に打ち込む。沖縄文学論の『甦る詩学』(まろうど社)は伊波普猷賞。最近の詩集では『よく聞きなさい、すぐにここを出るのです。』(思潮社、2022)が読売文学賞、日本芸術院賞。『物語論』(講談社学術文庫、2022)、『日本近代詩語』(文化科学高等研究院出版局、2023)、『くうた』の空間、詩の時間』(三弥井書店、2023)は新しい。

貴店名・帳合	注文数	発行：編集室 水平線 TEL&FAX：095-807-3999
		藤井貞和【著】
		非戦へ
		物語平和論
		四六判並製／256頁／定価 [1,800円+税]
ご担当者様	冊	ISBN 978-4-909291-03-5 C 0095

ご注文は JRC へ → FAX 03-3294-2177

※返品条件つき注文扱い